

番号	質問	回答
1	藤の木など、既存の樹木を出来るだけ残して欲しい。	建物や歩道整備に干渉する樹木は残せませんが、みらい通り側などは既存樹木を残せないか検討しています。藤の木も建物に干渉する位置にあり老木でもあることから、新しく植え替えます。
2	工事期間中の教室の換気について、前回の説明会で質問したが、空気清浄機の設置の検討はどうなったか。	工事期間中の教室の換気については、空調などをうまく活用したり、工事の状況に合わせて換気をしたりするなど工夫をします。空気清浄機の設置は行わないと思います。工事の影響については、工事説明の際に施工計画の詳細が示せると考えています。 ※現在藤久保小学校で使用している空気清浄機を、引き続き活用する予定です。
3	代替校庭で持久走練習はできるのか。	小さなトラックを作れる大きさを確保しています。
4	代替校庭は放課後利用できないとのことだが、学童保育室でも利用しないのか。	学童保育室の対応については、別途説明会（令和6年3月2日）にて説明します。
5	前回の説明会で工事期間中の既存校庭の一部利用について検討する旨の説明があったが、どうなったか。	既存校庭の一部利用については、引き続き検討しており、短期間ではあるが一部利用できる可能性はあります。ただ、利用できる場所や期間が限定的であり、それに対するデメリットもあるため、引き続き検討を行っています。
6	新しい施設の学童保育室の位置について、校庭に面した配置の方がよいのではないか。	限られたスペースの中で、校庭に面していた方がよい昇降口や職員室、特別支援学級などを配置した結果、学童保育室が広場側の配置となりました。広場側に配置したことで、送り迎えのしやすさなどメリットもあります。校庭へは、安全な動線を確保しています。
7	学童保育室に特化した説明会を開いて欲しい。	別途説明会（令和6年3月2日）を予定しています。
8	良い施設になると思うが安全性や耐久性などが気になる。児童が思いっきり活動できないといったことにならないようにして欲しい。	施設に使用するガラスや床材などは、安全性や耐久性に配慮した材料を使用しています。とはいえ、無理な使い方をすれば当然危険となるため、使い方については関係者でよく検討してもらいたいと考えています。
9	代替校庭の放課後や休み時間の利用について検討してほしい。	管理上、放課後の利用は難しいと思いますが、業間休みと昼休みの利用については、どのような対応が可能か検討しています。
10	東門側を通学路として利用している。工事期間中の安全性が気になっている。通学路の変更などもあるのか。	工事期間中、東側道路には工事車両の進入を禁止します。また、登校時間は工事車両の現場への入退場を禁止し、入退場口には交通整理員を配置し、安全対策を行います。東側道路の歩道整備工事の際に通学路の変更が生じる可能性があります。その場合も早めに情報提供を行います。
11	現在の藤久保小学校に比べてトイレの数が少なく感じる。この数で大丈夫なのか。	現在の藤久保小学校は増築を重ねていることで、通常よりかなり数が多い状況です。新しい小学校のトイレについては、先進事例を調査し、問題が無いことを確認しています。また、設置個数を検討する基準を満たした数を確保しています。
12	学校では、行ってはいけないと指導しているようだが、校庭が放課後使えない場合、他の小学校などに行ってはいけないのか。	放課後の対応については、改めて検討します。
13	仮設の学童保育室には、第一学童保育室が入るのか。	仮設の学童保育室には、現在の第一学童保育室が入ります。第二学童保育室は、新施設が完成するまで現在の位置のままです。
14	新施設の学童保育室は、第一、第二の両施設が入るのか。大きさは確保できているのか。	新しい学童保育室には、現在の第一、第二の両学童保育室が統合されて入ります。現在の支援単位が収まる面積を確保しています。
15	代替校庭について、近隣に対する砂埃の対策はどのように考えているか。	砂埃の対策については、施工業者と検討します。ライン石灰は使用せず、ロープで代用する予定です。
16	新施設が完成した後、代替校庭はどうなるのか。利活用を考えているのか。	代替校庭の土地は借地であるため、新施設完成後は、返却します。
17	新施設の校庭について、パースを見ると視線的に外部からオープンになっているように見える。開放的で良いと思うが、プライバシーの配慮などの問題もあると思う。どのようにしていくのか。	パースはイメージ図ですが、設計においても一定の解放感がある校庭を検討しています。今後、具体的な植栽の位置やフェンスの仕様の検討も行っていきます。